

スピングルカンパニーが発売 カンガルー革のサンダル

シヨート丈ボトムスと好相性



敷き)の表面は天然皮革と同等の吸湿性・放湿性を持っており、長時間履いても内部が蒸れにくい。

レザー・スニーカーの生産・企画・販売を行う(株)スピングルカンパニー(府中市府中町七四一、内田貴久社長)は5月4日、同社の人気スニーカー「SPINGLE」ブランドの定番素材であるカンガルーの革を用いた男性用サンダル「SP—1717」・「SP—1718」を発売した。写真。

カンガルー革は軽量かつしなやかな素材で、足になじみやすいのが特徴。同じ厚さの牛革より繊維構造が密なため、強度が高く丈夫だという。またフッドベッド(立体的な中

トンクサンダルタイプの「SP—1717」は、鼻緒の色に定番モデル「SP—110」のカラーの中から人気の六色(ライトグレー、ブラウン、ディープグリーン、ディープネイビー、ブラック、レッド)を使用。夏向けのシヨート丈ボトムスを着た際、コーディネートが引き締まるように仕上げたという。「SP—1718」はスライドタイプで高級感漂う大人のサンダル。甲を覆うアッパー(上部)はクッション入りで軟らかく、色はSP—1717と同じ。どちらもM、L、LLの3サイズがあり、価格は全て一万九八〇〇円。

直営店「SPINGLE VINGO GATE」(福山市三之丸町一八二ニューキャスパ一階)をはじめとする全国のスピングル専門店と、スピングル公式オンラインストアで販売して

いる。同社は「このサンダルで、夏のメンズカジュアルスタイルを楽しんで」と呼び掛けている。▽問 0847・41・5609

6月10日、イチセトウチで 広島県主催「インドでの オープンイノベーション」セミナー

広島県は6月10日13時—14時30分、i SETO UCHI (福山市西町一一一)で「インドでのオープンイノベーション」セミナーを開く。写真。参加無料。

県では、海外展開への意欲が高い県内企業と海外のスタートアップ企業が連携することで、環境・エネルギー分野における海外発の新たなビジネスを創出する事業を実施している。昨年度までは東南アジアを対象エリアとしていたが、今年度はインドを対象に事業創出などを

希望者は応募フォーム(<http://s://hiroshima-global-support.com>)から申し込む。また6月17日17時—18時30分にはオンラインでも実施する。同12日締め切り。

問 県海外スタートアップ等連携実証プロジェクト事務局(フォースタートアップス(株)内)メール hiroshima.global.support@forstartups.com

OPEN INNOVATION
インド現地企業との連携・海外進出を支援したい
県内企業を募集します！
今年は、
挑戦のフィールドを
インドに。

油木スポーツ広場 ネーミングライツ パートナーが決定



神石高原町はこのほど、募集していた同町油木スポーツ広場(同町油木)のネーミングライツパートナー(命名権者)が、(株)MSERRINT(東京、丹下大社長)に決定したと発表した。

同広場の愛称は「MSERRINT「フィールド」となる。期間は6月1日—2030年3月31日。同社は同町に支店を置き、飲食・観光事業を通じて地域おこしに取り組んでいる。同町の発行する広報物などでは当面「MSERRINTフィールド(油木スポーツ広場)」という形で愛称と正式名称を併記する。